

②MBC南日本放送

ふるさとたっぷり
MBC南日本放送

鹿児島県唯一の民放ラジオ&テレビ兼営局。鹿児島の豊かさ「かごしまじかん」の発信と「防災の日常化」を柱に、地域社会の価値の持続と防災力向上のための情報発信を行っています。2020年12月には、国連の「SDGメディア・コンパクト」に加盟しました。

住民の方々に向けたコメント

大崎町のリサイクルの取り組みが、ここまで継続され、注目するに至った背景には、住民の方々のコミュニティ力があるのではないのでしょうか。ごみを出す人、収集する人など、それぞれの立場に対する心遣いやお互い様の精神が浸透していると感じます。分別が始まった当初から大崎町を取材をさせていただく機会があり「本当にこのルールは根付くのか?」と半信半疑でした。けれど20年以上徹底され、続いていることは本当に素晴らしく、世界に誇れることだと思います。住民の方々に、敬意を表します。私たちがメディアという立場から、日本や世界に大崎町の今までのことやこれからのことを、発信していきたいと思えます。(MBC南日本放送・有馬正敏さん)



(左) 春に鹿児島市内で開催した、小学生向けのワークショップの様子
(右) 鹿児島女子短期大学でSDGsに関する授業を行った時の様子

協議会の中での取り組み

- ・毎月第3土曜日13:54から放送している「kagoshima SDGs 17colors」という番組を制作。SDGsの達成に向けて取り組む県内の企業を紹介
- ・SDGsに関連する親子向けや学生向けのイベントを企画・開催 等

③そおりサイクルセンター

NEW
有限会社 そおりサイクルセンター

2004年に、ごみの中間処理施設として設立。曾於市、志布志市、大崎町の2市1町から、人口約10万人分のごみを回収しています。27品目に分別されたごみを、さらに細かく分別し(例えばプラスチックは13品目にさらに分別)、それぞれ資源として買い取る会社に資源として“出荷”しています。2021年9月に、大崎町SDGs推進協議会に新しく参画しました。

住民の方々に向けたコメント

放送局や銀行の方々など、異業種の方々がいらっしゃる組織ですので、我々の事業や役割に対して、さまざまな視点からご意見・ご協力をいただけることを大変心強く感じております。協議会の活動を通じて、大崎町のリサイクルの次につながる新しい展開を作っていけるよう、精一杯協力させていただきます。(そおりサイクルセンター・宮地光弘さん)



Photo: Kohei Shikama

協議会の中での取り組み

- ・協議会でメディアの取材や視察の受け入れの際、リサイクルセンターの中の案内や取り組みの紹介を行う 等



公式サイトは
こちら

SNSもやってます!



お問い合わせはこちら

一般社団法人大崎町SDGs推進協議会
〒899-7301 鹿児島県曾於郡大崎町菱田14-41
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅 管理棟2F
info@osakini.org / 099-478-1487